

令和4年度  
事業報告及び収支決算報告書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

公益財団法人 えひめ女性財団



## 目 次

事業報告書	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
庶務の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	7
収支決算報告書		
1. 正味財産増減計算書	・・・・・・・・・・・・・・・・	9
2. 貸借対照表	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3. 財務諸表に関する注記	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
4. 財産目録	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
5. 正味財産増減計算書と貸借対照表の整合性チェック	・・・・・・	17
6. 附属明細書		

# 事業報告書

当財団は、公益目的事業として①男女共同参画事業②男女共同参画センター管理運営事業③施設貸館事業（公益目的利用）の3事業を、収益事業として施設貸館事業（公益目的外利用）を実施し、男女共同参画社会の形成に向けた県民への意識啓発や学習支援、家庭・地域・職場づくりの促進及び男女共同参画センターの管理運営等を行った。

## 【公益目的事業】

### I 男女共同参画事業

男女共同参画の家庭・地域・職場づくりの促進及び学習支援や意識啓発等を行い男女共同参画社会の実現に寄与するため、次の事業を実施した。

#### 1 男女共同参画に関する意識啓発及び交流の促進

##### (1) 男女共同参画に関する諸問題の総合的・実践的な調査研究

###### ① 調査研究助成事業

県下各地の地域・生活課題等、男女共同参画に関する諸問題について総合的な調査研究を募集し、5件の応募の中から審査により次の2件の調査研究事業に助成金を交付した。

研究テーマ 愛媛で両立の経験のある人、または、両立をしようとしている人の多様性に関する実態調査

研究者 堀田 真奈 (NPO法人ワークライフ・コラボ理事長)

調査期間 令和4年7月～令和5年3月

助成額 450千円

研究テーマ 愛媛県における男女共同参画推進の現状と課題  
～大学生を対象としたライフデザインに関する意識調査結果をもとに～

研究者 桐木 陽子 (松山東雲短期大学教授)

調査期間 令和4年7月～令和5年3月

助成額 350千円

##### (2) 男女共同参画社会づくりに関する意識啓発

###### ① えひめ男女共同参画フェスティバル開催事業

基調講演、財団自主企画イベント、県内各グループによる企画イベントとフリーイベント（ステージ発表等）を実施し、男女共同参画に対する県民への意識啓発と気運の醸成に努めた。

開催日時 令和4年12月3日（土）、4日（日）

内 容

###### ・基調講演（兼エンパワーメントカレッジ公開講座）

日 時 12月3日（土）13：30～15：00

テ ー マ 前を向いて生きる力～子育て、介護、がん治療、すべて妻と分かち合った～

講 師 笠井 信輔 (フリーアナウンサー)

参加者数 202名 (来館：152名、オンライン：50名)

###### ・えひめ女性財団自主企画イベント（講演会）

日 時 12月4日（日）13：30～15：30

テ ー マ 若年女性の置かれている現状と支援を考える  
～若草プロジェクトの活動からみえてくるもの～

講 師 大谷 恭子 (一般社団法人若草プロジェクト代表理事)

参加者数 40名 (来館：27名、オンライン：13名)

・フリーイベント

出展数 体験コーナー：5グループ、展示コーナー：7グループ  
販売コーナー：17グループ、ステージ発表：11グループ

②男女共同参画社会づくり推進イベント企画募集事業

男女共同参画意識の向上や人材育成、ネットワークづくり等を図るため、男女共同参画をテーマとしたイベント企画を募集し、5件の応募の中から1件の最優秀企画及び2件の優秀企画を選考し、「えひめ男女共同参画フェスティバル2022」において企画イベントとして実施した。

募集期間 令和4年5月～7月  
応募総数 5件  
採用件数 3件

	団体名	イベントの名称	参加者数
最優秀	フライングガールプロジェクト	朗読ミュージカル フライングガール ～日本初の女性飛行家・兵頭精物語～	70
優秀	あいどう&LIFE	みんなでワイワイミュージック	30
	劇団プラチナねこ	「兄妹」劇曲短編上演	35

③男女共同参画こらぼねっとわーく開催事業

男女共同参画の理念を集中的に学習し、地域に根差した男女共同参画の視点や必要性を知ること、参画をより現実的なものにしていくため、愛媛大学や一般社団法人愛媛助産師会と連携・協働し各事業を開催した。また、県・市連携の一環として、松山市男女共同参画推進財団との共同事業を実施した。

「リーダー養成セミナー フォローアップ講座」

開催日時 令和4年11月19日（土）10：00～15：00  
令和4年12月10日（土）10：00～15：00  
共 催 愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室  
テ ー マ リーダーのためのウェル・ビーイング入門  
～組織の中にワクワク感を創り出すリーダーシップとは～  
講 師 村田 晋也（愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室講師）  
秦 敬治（岡山理科大学 副学長・教授、愛媛大学客員教授）  
対 象 リーダー養成セミナー修了生、大学生等  
参加者数 30名

「パパママほやほや子育てセミナー」

開催日時 第1回：令和4年10月23日（日） 13：00～14：30 ※オンライン開催  
第2回：令和5年2月26日（日） 13：30～15：00  
共 催 一般社団法人愛媛助産師会  
内 容 ・助産師さんのお話  
・パパママが協力してベビーとのスキンシップ  
・パパママのワイワイトーク など  
対 象 1歳未満の乳児を子育て中のパパママ、妊娠中のカップルなど  
参加者数 第1回：3組（大人6名、子ども3名）  
第2回：5組（大人10名、子ども4名）

「愛媛県男女共同参画センター・松山市男女共同参画推進センター共同開催事業」

開催日時 令和4年11月5日(土) 13:30～15:30  
開催場所 愛媛県男女共同参画センター  
共催 公益財団法人松山市男女共同参画推進財団  
テーマ 暴力のない社会をめざして  
～DV加害者の心理と加害者プログラムを通して考える被害者支援～  
講師 原 健一 (NPO法人DV対策・予防センター九州理事長)  
参加者数 48名

④男女共同参画社会づくり推進県民大会開催事業

男女共同参画社会の実現を図るため、県民意識の高揚や自発的な活動を促進し県民総ぐるみの運動へと発展を図ることを目的に、愛媛県及び松山市男女共同参画推進財団との共催による事業を実施した。

開催日時 令和4年6月29日(水) 13:30～15:45  
開催方法 ハイブリッド形式で実施 (YouTubeでのライブ配信とアーカイブ配信)  
内容  
・基調講演  
テーマ 地域社会におけるジェンダーギャップ解消に向けて  
講師 大崎 麻子 (NPO法人GenderActionPlatform理事、関西学院大学客員教授、内閣府男女共同参画会議専門調査会委員)  
・パネルトーク  
テーマ 地域社会における私たちのジェンダー平等の実践  
パネリスト 大崎 麻子 (基調講演講師)  
松野 祐介 (株式会社あわしま堂愛媛本社工場物流課社員)  
山本 由美子 (NPO法人子育てネットワークえひめ代表理事)  
桐木 陽子 (松山東雲短期大学教授、愛媛県男女共同参画会議会長)  
参加者数 146名 (来館のみ) オンライン視聴29回※  
※四国中央市、今治市、八幡浜市、宇和島市では集合視聴実施

⑤えひめ女性財団情報発信事業

財団が年度内に実施した事業等を広く周知していくための情報誌「かがやき第43号」を1,500部発行した。また、SNS及びホームページを活用し、各種情報を随時発信するなど、各種媒体を通して財団事業への参加やセンターの利用促進を図った。

2 男女共同参画の家庭・地域・職場づくりの促進及び学習支援

(1) 男女共同参画の家庭・地域・職場づくりの促進

① 男性のための共同参画セミナー開催事業

県内の男性を対象にした財団主催の講演会を実施したほか、公募により上島町と共催で事業を行い、男性の意識改革や男女共同参画の家庭・地域づくりのための意識啓発を図った。

・公益財団法人えひめ女性財団主催事業 (トークショー)  
開催日時 令和5年2月25日(土) 13:30～15:00  
開催場所 愛媛県男女共同参画センター  
テーマ ワンオペJOKER作者に聞く俺の子育て奮闘記  
講師 宮川 サトシ (漫画家)  
聞き手 堀田 真奈 (NPO法人ワークライフ・コラボ理事長)  
参加者数 40名

・上島町との共催事業

開催日時 令和4年9月25日（日）13：00～15：40  
 開催場所 せとうち交流館（越智郡上島町弓削下弓削1037-2）  
 共 催 上島町住民課  
 内 容 男女共同参画講演会  
 参加者数 30名

② えひめ女性財団出前講座開催事業

財団職員がグループや職場・学校等で開催する講演会、勉強会、研修会等に  
 出向き講演やワークショップを行い、男女共同参画に関する意識啓発を行った。

実施件数 34件  
 参加者数 2,606名  
 開催場所 （東予）新居浜市、西条市、今治市、上島町  
 （中予）松山市、伊予市、松前町、砥部町  
 （南予）八幡浜市、宇和島市、愛南町

II 男女共同参画センター管理運営事業

女性の社会参加の促進、能力の開発等を通じた男女共同参画の促進を図るための  
 県の拠点施設である、愛媛県男女共同参画センターの管理運営等を行った。

1 愛媛県男女共同参画センターの管理運営

愛媛県男女共同参画センターの適正な維持管理に努め、研修、相談、情報提供  
 のほか、配偶者暴力相談支援センターに関する業務を行った。

(1) 各種の研修及び相談並びに学習の機会の提供

① 研修業務

内 容 男女共同参画社会の形成に向けた意識の高揚を図るため、様々な  
 分野を男女共同参画の視点から学習した。  
 対 象 県内在住の18歳以上の者

エンパワーメントカレッジ：7講座

講 座 名	講義数	実 施 期 間	参加者数
わたしの未来ぷらす塾	3	9月10日(土)～10月1日(土)	22名
アドバンスセミナー	2	8月6日(土)	21名
リーダー養成セミナー	7	9月15日(木)～10月13日(木)	20名、オープン23名 オンライン13名
子育てママのハピフルセミナー	4	6月10日(金)～7月8日(金)	14名
人生100年時代のウェルエイジングセミナー	4	6月23日(木)～7月28日(木)	36名
花咲くなでしこ応援塾	3	1月14日(土)～2月4日(土)	21名
公開講座	1	12月3日(土)	152名 オンライン50名
合 計	24		372名うちオンライン63名

地域エンパワーメントカレッジ：3会場

会場名（実施場所）	講義数	実 施 期 間	参加者数
大 洲 会 場（大洲市総合福祉センター）	4	8月31日(水)～9月14日(水)	53名
松前町会場（松前総合文化センター）	4	10月12日(水)～10月26日(水)	24名
四国中央会場（川之江ふれあい交流センター）	4	2月2日(木)～2月16日(木)	33名
合 計	12		110名

## ② 相談業務

女性に関するさまざまな悩みに対する問題点の整理、必要な情報やアドバイスを提供し、相談者自身が問題解決に向けて取り組めるよう支援した。

DV被害者相談では、配偶者暴力相談支援センターとして関係機関との連携のもと、被害者の自立に向けた支援に取り組んだ。また、前年度に引き続き男性相談員による、男性向け相談を受け付けた。

業務内容 ①女性相談員による総合相談（火曜日～日曜日）  
②臨床心理士による心理相談（月4回：第1～4木曜日）  
③弁護士による法律相談（月3回：第1, 2, 4木曜日）  
④男性相談員による男性相談（月2回：第1水曜日、第3土曜日）  
相談件数 2,090件※（内訳：総合相談1,886件、心理相談179件、法律相談25件）  
男性相談 23件  
※相談件数にはDV被害者相談件数136件（うち配偶者暴力相談支援センターの相談件数136件）が含まれる。

## (2) 情報の収集及び提供

各種事業や相談、図書情報、貸館利用等について、センターのホームページやTwitterに適宜情報を掲載し、施設の利用促進に努めた。

図書情報資料室での蔵書貸出や新刊等の図書購入のほか、国、各自治体、関連施設等の情報誌等の整理や、要請に応じた情報提供を行った。

えひめ性暴力被害者支援センターにおいては、リーフレットやカード、啓発グッズ（クリアファイル）を配布したほか、ホームページやTwitterによる利用促進に努めた。

（図書情報資料室）

蔵書貸出人数／延べ562人、蔵書貸出冊数／1,029冊  
年度内図書購入冊数／91冊、年度末蔵書総数／7,493冊

## (3) 女性の文化活動、地域活動等への援助

男女共同参画センターロビーの常設展示コーナーを、県内から応募のあった団体やグループの活動成果発表や交流の場として無料開放し、親しみのある施設運営とともに文化活動の支援を行った。

また、県内の自治体・団体・グループ等からの事業（講師の紹介やカリキュラム作成等）や相談等に関する問い合わせに対し、地域参画促進のための情報提供や専門的アドバイスをを行った。

男女共同参画センターロビー展

実施期間 令和4年6月～令和5年3月

参加数 7グループ

内容 写真、絵手紙、帯結び展示、活動展示 ほか

団体・グループ等への活動支援

件数 14件

内容 講師やグループの紹介、募集・実施等事業運営のアドバイス、DV被害者支援に関する専門的アドバイス など

## (4) 男女共同参画推進委員補助業務

愛媛県が設置する苦情処理機関（男女共同参画推進委員）の受付・補助を行った。

令和4年度・・・申し出件数 0件

## 2 性暴力被害者支援センター運営事業

性暴力被害者の尊厳を守り、心身に受けた被害の軽減、当該影響からの早期回復に資するため、365日24時間体制で、性暴力被害に対する専門相談に取り組んだ。また、必要に応じて同行支援や経済的支援を行った。

総相談件数	584件……面談63件、電話521件（うちコールセンター181件）
被害者の性別	女性414名、男性24名、その他146名
被害者の年齢	10代以下82名、20代127名、30代61名、40代21名、50代30名 60代以上12名、不明251名

## Ⅲ 施設貸館事業（公益目的事業及び収益事業に共通）

愛媛県の指定管理者として、愛媛県男女共同参画センターの管理運営業務の一つとして、男女共同参画推進等の公益目的やその他公益目的以外での、各種行事や勉強会・集会等の実施に対し施設提供を行った。

### (1) 施設利用促進業務

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、入館時の検温、消毒、マスク着用のほか、館内の換気等を徹底し、利用者にとって安心・安心な施設環境づくりに努めた。また、施設や附属設備等の修繕については、愛媛県と連携を図りながら迅速に対応し、施設利用に支障が生じないように努めた。

そのほか、利用者の利便性の向上を図るため、主に貸館施設におけるネット環境を整備したほか、施設環境づくりの一環として既存の照明設備をLED化するなど、施設の利便性と好感度を高めるための改修に積極的に取り組んだ。

貸館利用件数	2,505 件
貸館利用者数	49,720 名
貸館利用料収入	10,502,940 円
稼働率	57.9 %

## 庶務の概要

(令和5年3月31日現在)

### 1 評議員会

(1) 評議員数 5名

氏名	現職等	就任
中野博子	石丸小児科 副院長	R3. 6. 15
野中健次	株式会社松山機型工業 代表取締役	〃
野本百合子	愛媛県立医療技術大学 教授	〃
岩本直樹	弁護士	〃
中川美奈子	愛媛県民環境部県民生活局 局長	R4. 4. 1

(2) 任期 選任後、令和6年度事業に関する定時評議員会の終結の時まで

(3) 開催状況

開催年月日	付議事項	議決事項
令和4年6月15日(水) 13:30~14:10 至:愛媛県男女共同参画センター	(1) 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について	原案可決
令和5年3月23日(木) 13:30~14:15 至:愛媛県男女共同参画センター	(1) 評議員の選任を求めることについて (2) 評議員の選任を求めることについて (3) 理事の選任を求めることについて (4) 公益財団法人えひめ女性財団役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について	原案可決

### 2 理事会

(1) 役員数 理事9名(理事長1名、常務理事1名、理事7名)、監事2名

役職	氏名	現職等	就任
理事長	越智 やよい	愛媛県男女共同参画センター 館長	R3. 6. 15
理事	小坂 泰起	公益財団法人えひめ女性財団 常務理事	〃
〃	高市 眞一	農事組合法人ほのぼの農園 代表理事	〃
〃	眞鍋 誠子	今治看護専門学校 副校長	〃
〃	水本 説男	愛媛県民生児童委員会協議会 副会長	〃
〃	小國 恵子	女性と防災の会 代表	〃
〃	上村 芽衣子	第一次産業女子ネットワーク・さくらひめ会員	〃
〃	佐川 東輝枝	愛媛県商工会議所女性会連合会 会長	〃
〃	信貴 正美	公益財団法人えひめ女性財団 参事	R4. 4. 1
監事	飯尾 智仁	愛媛県商工会連合会 専務理事	R3. 6. 15
〃	石丸 裕司	税理士	〃

(2) 任期 理事は、選任後、令和4年度事業に関する定時評議員会の終結の時まで

監事は、選任後、令和6年度事業に関する定時評議員会の終結の時まで

(3) 開催状況

開催年月日	付議事項	議決事項
令和4年5月24日(火) 13:30~14:40 至:愛媛県男女共同参画センター	(1) 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について (2) 公益財団法人えひめ女性財団評議員会の開催について	原案可決
令和4年6月11日(土) (書面決議)	(1) 公益財団法人えひめ女性財団嘱託員特例就業規程の一部改正について (2) 性暴力被害者支援センター嘱託員特例就業規程の一部改正について	原案可決
令和5年3月10日(金) 13:30~14:40 至:愛媛県男女共同参画センター	(1) 令和5年度事業計画及び収支予算の承認について (2) 公益財団法人えひめ女性財団処務規程の一部改正について (3) 公益財団法人えひめ女性財団の役員及び職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について (4) 男女共同参画センター館長特例就業規程を廃止する規程の制定について (5) 男女共同参画センター参与及び事務局長の給与に関する規程の一部改正について (6) 公益財団法人えひめ女性財団評議員会の開催について	原案可決

### 3 職員の状況

職員の配置は、次のとおりである。

#### ○事務局 6名

常 務 理 事	1	(男女共同参画センター参与兼務)
参 事	1	(男女共同参画センター事務局長及び性暴力被害者支援センター所長兼務)
副 参 事	1	(男女共同参画センター総務課長兼務)
副 参 事	1	(男女共同参画センター事業課長兼務)
会 計 責 任 者	1	(参事兼務)
出 納 員	1	(男女共同参画センター総務課長兼務)
主 事	1	(男女共同参画センター主事兼務)
事 務 補 助 員	1	

#### ○男女共同参画センター 12名

館 長	1
参 与	1
事 務 局 長	1
総 務 課 長	1
事 業 課 長	1
主 任	1
主 事	1
相 談 員	3
事 務 補 助 員	2

#### ○性暴力被害者支援センター 11名

所 長	1
主 任 支 援 員	1
支 援 員	9

# 収支決算報告書

## 1. 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	( 16,268,479)	( 16,268,479)	( 0)
基本財産受取利息	16,268,479	16,268,479	0
② 特定資産運用益	( 627)	( 609)	( 18)
特定資産受取利息	627	609	18
③ 事業収益	( 10,908,542)	( 7,938,869)	( 2,969,673)
男女共同参画事業収益	405,602	162,779	242,823
施設貸館事業収益	10,502,940	7,776,090	2,726,850
④ 受取補助金等	( 93,382,303)	( 86,905,744)	( 6,476,559)
男女共同参画センター管理運営受託収益	76,898,000	70,678,000	6,220,000
性暴力被害者支援センター運営事業受託収益	16,484,303	16,227,744	256,559
⑤ 受取寄附金	( 0)	( 0)	( 0)
受取寄附金	0	0	0
⑥ 雑収益	( 399,280)	( 392,933)	( 6,347)
受取利息	468	445	23
その他雑収入	398,812	392,488	6,324
経常収益計(A)	120,959,231	111,506,634	9,452,597
(2) 経常費用			
① 事業費	( 110,442,116)	( 100,981,379)	( 9,460,737)
給料手当	35,917,065	31,043,997	4,873,068
嘱託職員報酬	11,296,752	14,719,305	△3,422,553
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	6,034,400	5,836,241	198,159
旅費交通費	673,598	320,352	353,246
通信運搬費	1,247,240	1,137,055	110,185
消耗什器備品費	350,234	506,765	△156,531
消耗品費	3,775,407	3,643,366	132,041
修繕費	4,713,390	4,469,410	243,980
印刷製本費	1,421,695	1,277,100	144,595
燃料費	0	0	0
光熱水料費	12,301,684	9,869,045	2,432,639
賃借料	2,146,312	1,951,238	195,074
保険料	35,420	35,420	0
諸謝金	3,998,884	3,548,108	450,776
租税公課	4,321,193	4,172,455	148,738
支払負担金	556,965	255,922	301,043
支払助成金	1,071,327	700,000	371,327
委託費	20,030,800	17,101,700	2,929,100
手数料	204,200	59,400	144,800
広告料	327,250	327,250	0
雑費	18,300	7,250	11,050

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	( 9,362,254)	( 7,572,121)	( 1,790,133)
役員報酬	290,000	260,000	30,000
給料手当	2,776,871	1,734,988	1,041,883
嘱託職員報酬	513,721	602,882	△89,161
臨時雇賃金	15,000	0	15,000
退職給付費用	1,538,957	924,124	614,833
福利厚生費	476,937	339,232	137,705
旅費交通費	46,728	47,132	△404
通信運搬費	466,671	384,674	81,997
消耗什器備品費	477,510	327,800	149,710
消耗品費	1,126,693	1,210,171	△83,478
修繕費	54,945	0	54,945
印刷製本費	378,400	479,600	△101,200
賃借料	374,614	324,884	49,730
諸謝金	430,000	420,000	10,000
租税公課	18,507	11,245	7,262
支払負担金	7,600	7,600	0
委託費	363,000	363,000	0
手数料	6,100	134,789	△128,689
經常費用計(B)	119,804,370	108,553,500	11,250,870
当期經常増減額(C) (A)-(B)	1,154,861	2,953,134	△1,798,273
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計(D)	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計(E)	0	0	0
当期經常外増減額(F) (D)-(E)	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額(G) (C)+(F)	1,154,861	2,953,134	△1,798,273
法人税、住民税及び事業税(H)	578,300	421,000	157,300
当期一般正味財産増減額(I) (G)-(H)	576,561	2,532,134	△1,955,573
一般正味財産期首残高(J)	50,690,010	48,157,876	2,532,134
一般正味財産期末残高(K) (I)+(J)	51,266,571	50,690,010	576,561
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	( 318,479)	( 318,479)	0
基本財産受取利息	318,479	318,479	0
② 一般正味財産への振替額	( △318,479)	( △318,479)	0
一般正味財産への振替額	△318,479	△318,479	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000,000	1,000,000,000	0
指定正味財産期末残高(L)	1,000,000,000	1,000,000,000	0
III 正味財産期末残高(M) (K)+(L)	1,051,266,571	1,050,690,010	576,561

## (正味財産増減計算書内訳表)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合 計
	男女共同参画事業	男女共同参画センター管理運営事業	施設貸館事業	共 通	小 計	施設貸館事業		
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	( 4,067,119)				( 4,067,119)		(12,201,360)	( 16,268,479)
基本財産受取利息	4,067,119				4,067,119		12,201,360	16,268,479
② 特定資産運用益							( 627)	( 627)
特定資産受取利息							627	627
③ 事業収益	( 405,602)		( 4,201,176)		( 4,606,778)	(6,301,764)		( 10,908,542)
男女共同参画事業収益	405,602				405,602			405,602
施設貸館事業収益			4,201,176		4,201,176	6,301,764		10,502,940
④ 受取補助金等		(74,157,803)	(11,534,700)		( 85,692,503)	(7,689,800)		( 93,382,303)
男女共同参画センター受取収益		57,673,500	11,534,700		69,208,200	7,689,800		76,898,000
性暴力被害者支援センター受取収益		16,484,303			16,484,303			16,484,303
⑤ 受取寄附金	( 0)				( 0)			( 0)
受取寄附金	0				0			0
⑥ 雑収益	( 116)	( 0)	( 0)		( 116)	( 398,812)	( 352)	( 399,280)
受取利息	116				116		352	468
その他雑収入		0	0		0	398,812		398,812
経常収益計	4,472,837	74,157,803	15,735,876	0	94,366,516	14,390,376	12,202,339	120,959,231
(2) 経常費用								
① 事業費	( 5,837,861)	(77,634,154)	(16,182,051)	( 0)	( 99,654,066)	(10,788,050)		(110,442,116)
給料手当	1,388,432	26,198,035	4,998,359		32,584,826	3,332,239		35,917,065
嘱託職員報酬	256,859	9,498,740	924,692		10,680,291	616,461		11,296,752
臨時雇賃金	0	0	0		0	0		0
福利厚生費	234,036	4,396,150	842,529		5,472,715	561,685		6,034,400
旅費交通費	162,564	511,034	0		673,598	0		673,598
通信運搬費	264,198	823,391	95,790		1,183,379	63,861		1,247,240
消耗什器備品費		275,203	45,018		320,221	30,013		350,234
消耗品費	337,136	2,468,140	582,077		3,387,353	388,054		3,775,407
修繕費		2,922,301	1,074,652		3,996,953	716,437		4,713,390
印刷製本費	443,300	832,826	87,341		1,363,467	58,228		1,421,695
燃料費		0	0		0	0		0
光熱水料費		7,627,044	2,804,783		10,431,827	1,869,857		12,301,684
賃借料	150,260	1,467,956	316,856		1,935,072	211,240		2,146,312
保険料		21,960	8,075		30,035	5,385		35,420
諸謝金	814,154	3,184,730			3,998,884			3,998,884
租税公課		2,873,699	868,496		3,742,195	578,998		4,321,193
支払負担金	46,405	483,982	15,947		546,334	10,631		556,965
支払助成金	1,071,327				1,071,327			1,071,327
委託費	373,140	13,806,549	3,510,665		17,690,354	2,340,446		20,030,800
手数料	174,500	18,414	6,771		199,685	4,515		204,200
広告料	107,250	220,000			327,250			327,250
雑費	14,300	4,000			18,300			18,300

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合 計
	男女共同参画事業	男女共同参画センター管理運営事業	施設貸館事業	共 通	小 計	施設貸館事業		
② 管理費							( 9,362,254)	( 9,362,254)
役員報酬							290,000	290,000
給料手当							2,776,871	2,776,871
嘱託職員報酬							513,721	513,721
臨時雇賃金							15,000	15,000
退職給付費用							1,538,957	1,538,957
福利厚生費							476,937	476,937
旅費交通費							46,728	46,728
通信運搬費							466,671	466,671
消耗什器備品費							477,510	477,510
消耗品費							1,126,693	1,126,693
修繕費							54,945	54,945
印刷製本費							378,400	378,400
賃借料							374,614	374,614
諸謝金							430,000	430,000
租税公課							18,507	18,507
支払負担金							7,600	7,600
委託費							363,000	363,000
手数料							6,100	6,100
經常費用計	5,837,861	77,634,154	16,182,051	0	99,654,066	10,788,050	9,362,254	119,804,370
当期經常増減額	△1,365,024	△3,476,351	△446,175	0	△5,287,550	3,602,326	2,840,085	1,154,861
2 經常外増減の部								
(1) 經常外収益								
經常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用								
經常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0		0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△1,365,024	△3,476,351	△446,175	0	△5,287,550	3,602,326	2,840,085	1,154,861
他会計振替額				1,343,908	1,343,908	△1,343,908		0
税引前当期一般正味財産増減額	△1,365,024	△3,476,351	△446,175	1,343,908	△3,943,642	2,258,418	2,840,085	1,154,861
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	578,300	0	578,300
当期一般正味財産増減額	△1,365,024	△3,476,351	△446,175	1,343,908	△3,943,642	1,680,118	2,840,085	576,561
一般正味財産期首残高	△12,042,761	△16,058,150	△7,948,051	8,278,314	△27,770,648	15,553,862	62,906,796	50,690,010
一般正味財産期末残高	△13,407,785	△19,534,501	△8,394,226	9,622,222	△31,714,290	17,233,980	65,746,881	51,266,571
II 指定正味財産増減の部								
① 基本財産運用益	( 79,619)	( 0)	( 0)	( 0)	( 79,619)	( 0)	( 238,860)	( 318,479)
基本財産受取利息	79,619	0	0	0	79,619	0	238,860	318,479
② 一般正味財産への振替額	( △79,619)	( 0)	( 0)	( 0)	( △79,619)	( 0)	(△238,860)	( △318,479)
一般正味財産への振替額	△79,619	0	0	0	△79,619	0	△238,860	△318,479
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	250,000,000	0	0	0	250,000,000	0	750,000,000	1,000,000,000
指定正味財産期末残高	250,000,000	0	0	0	250,000,000	0	750,000,000	1,000,000,000
III 正味財産期末残高	236,592,215	△19,534,501	△8,394,226	9,622,222	218,285,710	17,233,980	815,746,881	1,051,266,571

## 2. 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	50,143,552	49,100,231	1,043,321
普通預金 伊予銀行愛媛県庁支店 1206359	39,649,776	40,847,558	△ 1,197,782
普通預金 愛媛銀行中央通支店 0208630	4,901,132	3,065,631	1,835,501
普通預金 愛媛銀行中央通支店 3449030	5,592,644	5,187,042	405,602
未収金	11,783,849	10,200,513	1,583,336
流動資産合計	61,927,401	59,300,744	2,626,657
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
基本財産有価証券	996,467,917	996,149,438	318,479
基本金引当預金	3,532,083	3,850,562	△ 318,479
基本財産合計	1,000,000,000	1,000,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	30,564,778	30,095,241	469,537
資金運用基金積立資産	1,340,000	1,340,000	0
特定資産合計	31,904,778	31,435,241	469,537
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	374,920	374,920	0
その他固定資産合計	374,921	374,921	0
固定資産合計	1,032,279,699	1,031,810,162	469,537
資産合計	1,094,207,100	1,091,110,906	3,096,194
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	10,770,637	8,794,206	1,976,431
前受金	960,260	908,620	51,640
預り金	644,854	622,829	22,025
流動負債合計	12,375,751	10,325,655	2,050,096
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	30,564,778	30,095,241	469,537
固定負債合計	30,564,778	30,095,241	469,537
負債合計	42,940,529	40,420,896	2,519,633
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
出損金	1,000,000,000	1,000,000,000	0
指定正味財産合計	1,000,000,000	1,000,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 1,000,000,000)	( 1,000,000,000)	( 0)
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定財産への充当額)	( 1,340,000)	( 1,340,000)	( 0)
正味財産合計	1,051,266,571	1,050,690,010	576,561
負債及び正味財産合計	1,094,207,100	1,091,110,906	3,096,194

### 3. 財務諸表に対する注記

#### 1. 継続組織の前提に関する注記

該当する事項はない。

#### 2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金

職員に対する退職金の支給に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき期末要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

#### 3. 会計方針の変更

変更はない。

#### 4. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産有価証券	996,149,438	318,479	0	996,467,917
基本金引当預金	3,850,562	0	318,479	3,532,083
小計	1,000,000,000	318,479	318,479	1,000,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	30,095,241	1,538,957	1,069,420	30,564,778
資金運用基金積立資産	1,340,000	0	0	1,340,000
小計	31,435,241	1,538,957	1,069,420	31,904,778
合計	1,031,435,241	1,857,436	1,387,899	1,031,904,778

#### 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産有価証券	996,467,917	( 996,467,917)	—	—
基本金引当預金	3,532,083	( 3,532,083)	—	—
小計	1,000,000,000	( 1,000,000,000)	—	—
特定資産				
退職給付引当資産	30,564,778	—	—	( 30,564,778)
資金運用基金積立資産	1,340,000	—	( 1,340,000)	—
小計	31,904,778	( 0)	( 1,340,000)	( 30,564,778)
合計	1,031,904,778	( 1,000,000,000)	( 1,340,000)	( 30,564,778)

#### 6. 担保に供している資産

該当する事項はない。

#### 7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残額

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
什器備品	224,025	224,024	1
合計	224,025	224,024	1

#### 8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次の通りである。

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金			
基本財産受取利息 利付国債(第8回)	3,205,479	0	3,205,479
政府保証第260回日本高速道路保有・債務返済機構債	2,513,425	0	2,513,425
受取補助金			
男女共同参画センター管理運営委託料	5,704,000	0	5,704,000
性暴力被害者支援センター運営事業委託料	329,064	0	329,064
雑収入		0	
3月分自動販売機売上手数料	31,881		31,881
合 計	11,783,849	0	11,783,849

9. 保証債務等の偶発債務  
該当する事項はない。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
利付国債(30年)第8回	497,262,920	567,700,000	70,437,080
政府保証第260回日本高速道路保有・債務返済機構債(30年)	499,204,997	521,800,000	22,595,003
合 計	996,467,917	1,089,500,000	93,032,083

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
愛媛県男女共同参画センター管理運営委託料	愛媛県	0	76,898,000	76,898,000	0	一般正味財産
えひめ性暴力被害者支援センター運営事業委託料	愛媛県	0	16,484,303	16,484,303	0	一般正味財産
合 計		0	93,382,303	93,382,303	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残額  
該当する事項はない。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 訳	金 額 (円)
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	318,479
合 計	318,479

14. 関連当事者との取引の内容  
該当する事項はない。

15. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当する事項はない。

16. 重要な後発事象  
該当する事項はない。

17. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当財団は、公益目的事業の財源の一部及び法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 基本財産の管理運用に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の定款に規定する基本財産の運用に関する基本方針に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債権については、発行体の状況をポートフォリオを活用し定期的に把握し、理事会に報告する。

#### 4. 財産目録

令和5年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	普通預金1206359 伊予銀行愛媛県庁支店	運転資金として	39,649,776	
		普通預金0208630 愛媛銀行中央通支店	運転資金として	4,901,132	
		普通預金3449030 愛媛銀行中央通支店	運転資金として	5,592,644	
	未収金	基本財産受取利息	男女共同参画事業及び財団管理業務の未収金	5,718,904	
		受取補助金等	男女共同参画センター管理運営費 性暴力被害者支援センター管理運営費	5,704,000 329,064	
		3月分自動販売機売上手数料	施設貸館事業（公益）の未収金	31,881	
流動資産合計				61,927,401	
(固定資産)	基本財産	伊予銀行 利付国債(30年)第8回	公益目的保有財産であり、運用益を男女共同参画事業及び財団管理業務の財源として使用している。	497,262,920	
		SMBC日興証券 政府保証第260回日本高速道路保有・債務返済機構債(30年)	公益目的保有財産であり、運用益を男女共同参画事業及び財団管理業務の財源として使用している。	499,204,997	
		基本基金引当預金 普通預金1679597 伊予銀行 愛媛県庁支店	公益目的保有財産であり、運用益を男女共同参画事業及び財団管理業務の財源として使用している。	3,532,083	
	特定資産	退職給付引当資産	定期預金75526818 愛媛銀行 県庁支店	職員に対する退職金の支払いに備えた預金。	30,564,778
		資金運用基金積立資産	定期預金7510069 伊予銀行 愛媛県庁支店	公益目的保有財産であり、財団管理業務等の財源に充てる預金。	1,340,000
	その他固定資産	什器備品 電話加入権	記載台	財団管理業務で使用している。 男女共同参画事業及び財団管理業務の資産。	1 374,920
固定資産合計				1,032,279,699	
資産合計				1,094,207,100	
(流動負債)	未払金	職員他に対する未払額	男女共同参画事業、男女共同参画センター管理運営事業、施設貸館事業(公益)、施設貸館事業(収益)、財団管理業務の未払金	10,770,637	
	前受金	令和5年度貸館利用料金	施設貸館事業(公益)、施設貸館事業(収益)の前受金	960,260	
	預り金	3月分源泉所得税他	男女共同参画事業、男女共同参画センター管理運営事業、施設貸館事業(公益)、施設貸館事業(収益)、財団管理業務の預り金	644,854	
流動負債合計				12,375,751	
(固定負債)	退職給付引当金			30,564,778	
固定負債合計				30,564,778	
負債合計				42,940,529	
正味財産				1,051,266,571	

5. 正味財産増減計算書と貸借対照表の整合性チェック

正味財産増減計算書				
I. 一般正味財産増減の部				
一般正味財産期末残高	51,266,571	一致		
II. 指定正味財産増減の部				
指定正味財産期末残高	1,000,000,000		一致	
III. 正味財産期末残高	1,051,266,571		一致	
貸借対照表				
I. 資産の部				
II. 負債の部				
III. 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	1,000,000,000			
2. 一般正味財産				
正味財産合計	51,266,571			
	1,051,266,571			

6. 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表の注記に掲載しているため、記載を省略。  
また、基本財産及び特定資産の重要な増減はありません。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	30,095,241	1,538,957	1,069,420	0	30,564,778

# 監査報告書

令和 5年 5月 17日

公益財団法人えひめ女性財団  
理事長 越智やよい 様

監事 石丸 裕司



監事 飯尾 智仁



私たち監事は、公益財団法人えひめ女性財団の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度における理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細並びに財産目録について監査いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、公益財団法人えひめ女性財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、公益財団法人えひめ女性財団の財産及び損益の状況を、すべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

【別紙1：公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第28条  
第1項第2号に掲げる書類】

事業 年度	自	令和4年4月1日	法人コード	A012341
	至	令和5年3月31日	法人名	公益財団法人えひめ女性財団

運営組織及び事業活動の状況の概要等について

1. 法人の基本情報について

法人の名称	公益財団法人えひめ女性財団		
設立登記日(注)	平成25年4月1日		
法人の目的	この法人は、男女が互いに人権を尊重し、性別にとらわれずそれぞれの個性と能力を十分に発揮しながら、あらゆる分野で対等に参画することにより、互いに利益を享受し、責任を分かち合える男女共同参画社会の実現に寄与することを目的とする。		
主たる事務所の所在場所	都道府県	市区町村番地等	
	愛媛県	松山市山越町450番地	
社員の資格の得喪の条件 (公益社団法人のみ)			
社員の数(公益社団法人のみ)		人	

注 旧民法に基づき設立された法人にあつては、新制度への移行登記をした日付になります。

2. 事業活動等について

(1) 収支相償

収益事業等から生じた利益の繰入割合	50%		
第2段階の合計	収入の額		費用の額
	95,710,424 円		99,654,066 円
収入>費用の場合の対応	収入&#8722;費用欄の数値がプラスでないため、本欄の記入は不要です。		

(2) 公益目的事業比率

公益目的事業比率 (①欄の額÷①欄～③欄の合計額)		83.2 %
①	公益実施費用額	99,654,066 円
②	収益等実施費用額	10,788,050 円
③	管理運営費用額	9,362,254 円

(3) 寄附を受けた財産の額

寄附を受けた財産の額	0 円	うち個人から	0 円
		うち法人から	0 円

(4) 金融資産の運用収入の額

金融資産の運用収入の額	16,269,574 円
-------------	--------------

(5) 資産、負債及び正味財産の額

資産額	1,094,207,100 円	負債額	42,940,529 円
		正味財産額	1,051,266,571 円

(6) 遊休財産額

遊休財産額の保有上限額	99,654,066 円
遊休財産額	50,891,650 円

(7) 当事業年度の末日における公益目的取得財産残額

公益目的取得財産残額(①欄+②欄の合計額)		226,988,116 円
①	公益目的増減差額	△ 23,105,614 円
②	公益目的保有財産の帳簿価額の合計額	250,093,730 円

(8) 理事、監事及び評議員の報酬等の額

理事等の報酬等の総額	290,000 円
(うち、退職手当の額)	0 円

(9) 事業の運営に関する行政庁からの勧告又は命令の有無

当事業年度の勧告又は命令の有無(注)	無
--------------------	---

注 当事業年度以前に受けた勧告又は命令であって、行政庁に改善の報告をしていないものを含みます。